

イル・ド・フランス 地域圏財政状況

・ 主要データ及びサマリー ・

2023年3月



数字で見るイル・ド・フランス地域圏：

- フランスの国土の 2%
- フランスの全人口の 18%
- フランスの GDP の 31%
- 2023 年の予算：55 億€
- フランス公的債務残高の 0.22%
- 広範な権限：交通から、中等教育、環境、領土整備まで

・欧州内の地方自治体・

最重要経済地域

フランスで最も繁栄した地方自治体：

- フランスGDPの31%
- 欧州GDPの5.4%

1人当たりGDPが欧州で最も高い地域の1つ (59 675 €)。

当地方自治体のガバナンス

- 地域圏議会議長ヴァレリー・ペクレス
- 2021年6月に直接普通選挙で選出された任期7年 (2021~28年) の議員209名から構成される地域圏議会

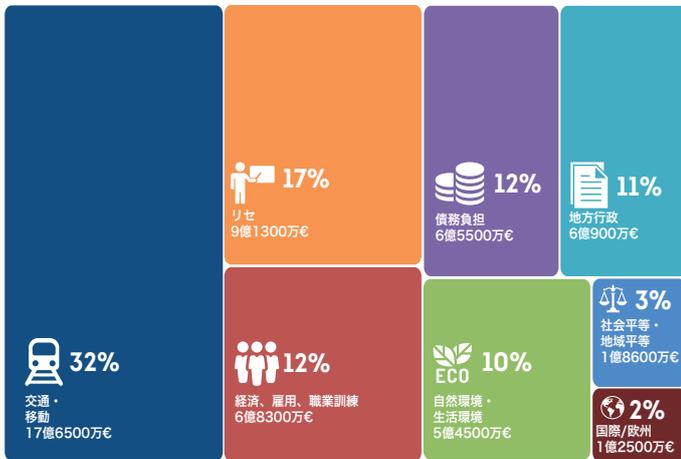
広範な権限

- 交通
- 中等教育 (リセ)
- 職業訓練、雇用
- 経済開発、研究、高等教育
- 環境、管轄地域整備
- 連帯、住居、文化、スポーツ

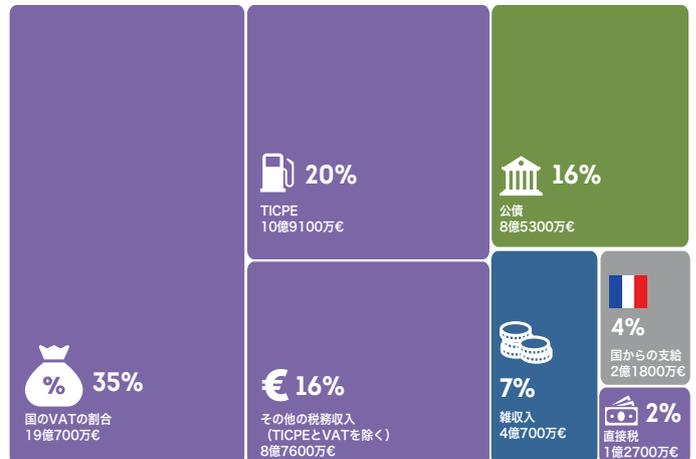


・投資に向けた2023年予算編成・

総支出 (55億€)



総収入 (55億€)



- 2018年来、最低限81%の自己資金投資 (2015年の57.8%)。
- 2019年来、平均総貯蓄率37% (2015年の20.5%)。

・グリーンかつ責任ある財政・

2022 年末債務残高：63 億 2700 万€
平均年限：5.7 年
平均金利：1.42 %

主としてグリーンかつ責任ある債券発行に限定した中長期融資。

EMTN プログラムの形態による債券発行 (2001 年における地方自治体初のプログラム)：

- 2022 年末で、総額 57 億 200 万€
- 2012 年から 2022 年の間に発行された 54 億ユーロのグリーンボンドおよびサステナブルボンド (すなわち、総債務残高のほぼ 85 %) を含む

• EIB との長期的なパートナーシップをもとに持続可能な投資プロジェクトに資金提供を実行。

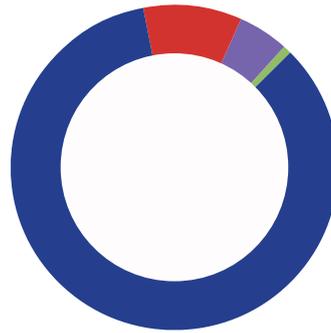
- リセ (高校) のプロジェクトをターゲットとした貯蓄供託金庫貸付

流動資産への多角的アクセス 10 億€の NEU-CP 短期プログラム (2002) 及び流動資本管理にも公債流動化にも使える 1 億€の回転融資枠。

公債タイプによる債務残高内訳

戦略とその受賞歴

- ビジネスパートナー賞、デジタル・ファイナンス・アワードによる授与 (2022 年)
- 2021 年フランス最優秀サステナビリティボンド発行者賞、キャピタル・ファイナンス・インターナショナルによる授与 (2021 年)
- 2019 年公共部門財政リーダー 金賞、財政リーダーサミット (2019 年)
- 2019 年世界賞 地方公共部門グリーンかつ責任ある債券発行、Environmental Finance による授与 (2019 年)



- 85.42% → 公債発行
- 9.13% → EIB貸付と貯蓄供託金庫貸付
- 4.66% → 民間運用
- 0.79% → 債務証券

・財務格付けおよび卓越した財務パフォーマンス・

ムーディーズ：« Aa2 » 前向き：

- « 運用実績良好 »
- « ガバナンス枠が堅調かつ債務管理の健全実施 »
- « エコロジーと持続可能な開発の長期戦略が実証している当地方の賢明な財務管理も格付けに寄与している »

フィッチ・レーティングス：

- « AA- » 見通し安定的：
- « イル・ド・フランスは支出を厳しく管理しており、その結果、過去 5 年間の経費は着実に減少している »
- « イル・ド・フランスの債務持続可能性比率が改善したことを受け、単体としての信用プロフィール (SCP) を「aa」から「aa+」に修正した (...) ただし、イル・ド・フランスの IDR は、フランス政府の

IDR (AA/ ネガティブ) を上限とするため、変更はない。ネガティブという見通しは、ソプリンの見通しを反映したものである »

Vigeo Eiris : 2021 年、欧州 29 自治体パネルにおいて当地方を 3 位に格付け «61/100» (2021 年 12 月)。環境、社会、イル・ド・フランス地方ガバナンスに関するパフォーマンスの全体評価 « 高度 »。

・透明性の高く信頼性の高いフレームワークを定める先駆的的地方自治体・

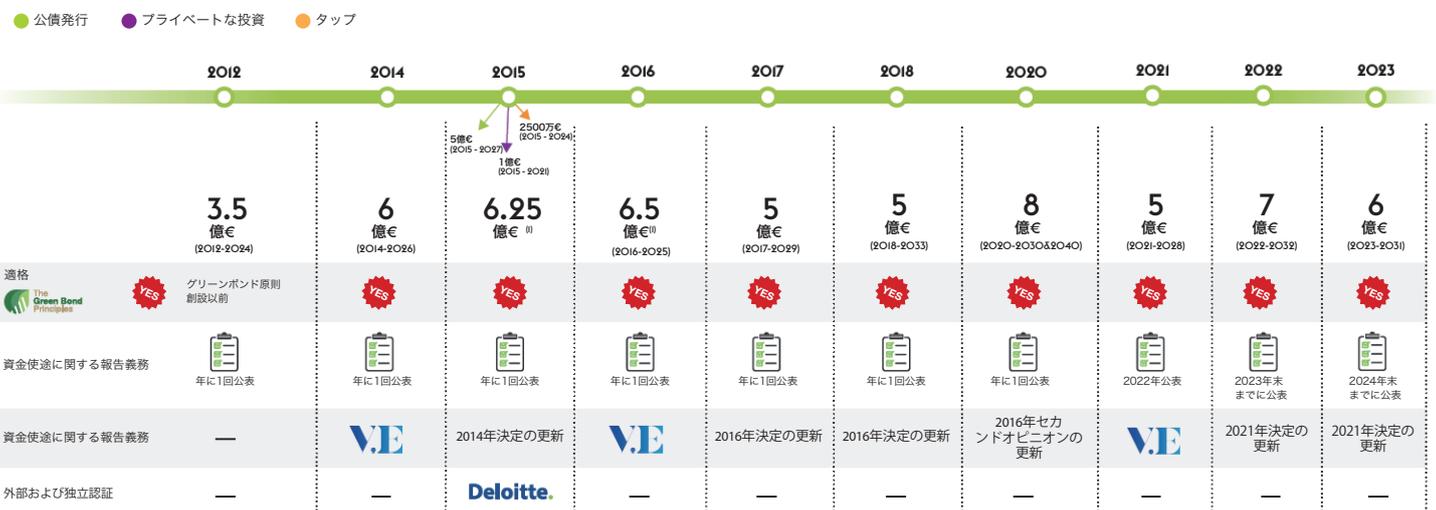
2012 年来、グリーンボンド市場における頻繁かつ公正な発行機関であるイル・ド・フランス地域圏は、資金調達取引 9 回、内 8 回のベンチマーク公募債を発行。当地方自治体が始めたグリーンかつ責任ある取引は、「サステナビリティ ボンドガイドライン」と矛盾なく、「グリーンボンド原則」

および「ソーシャルボンド原則」の一環をなしている。

取引の翌年に公表された影響&割当てに関する報告：

- グリーンプロジェクト、ソーシャルプロジェクトのカテゴリーに応じた資金割り当て
- 影響指標及び使用された計算基準の提示

- 国連の「持続可能な開発目標」(SDGs) の観点から、資金提供されたプロジェクトをレビュー
- プロジェクトの目的指向性及び責任あるマネジメントに関する 9 つの適格性基準
- 可能な場合、プロジェクトが欧州タクソノミーの第一目的に合致しているかどうかの評価



(1) 累計額

・当地方の力量を示すグリーンかつ責任ある債券の発行割当て・

1. 4段階の選考プロセスで、以下を検証：

- ・国内規制の遵守
- ・当地方が定める適格性基準（グリーンプロジェクトまたはソーシャルプロジェクトのカテゴリ）への対応
- ・可能な場合、欧州タクソノミーの気候変動緩和目標への貢献度の評価
- ・各プロジェクトの環境、社会、経済的責任とガバナンスの定性的な評価

2. 各部局により選ばれたプロジェクトの模範例

- ・環境及び社会に関する当地方の強いコミットメント
- ・投資額 25 億€に対して履行した選定（2021 年決算）
- ・交通及びグリーンビルディングに関する大型プロジェクトは、年をまたいで継続可能



2021年発行のカテゴリ別割当

- 3億8030万€・76.1% → 低炭素輸送
- 1億260万€・20.5% → 持続可能な建築物
- 130万€・0.3% → 低価格住宅
- 290万€・0.6% → 必須サービスへのアクセス：医療
- 30万€・0.1% → 陸上水中の生物多様性の保全
- 250万€・0.5% → 再生可能エネルギー
- 770万€・1.5% → 安価な基本インフラ
- 230万€・0.5% → 雇用創出、危機関連の失業対策

3. 財務局：

- ・提示されたプロジェクトを基本に各カテゴリ間の配分を承認
- ・各部局から伝達された情報を連結

・当地方独自の魅力を裏付ける2023年の公債・

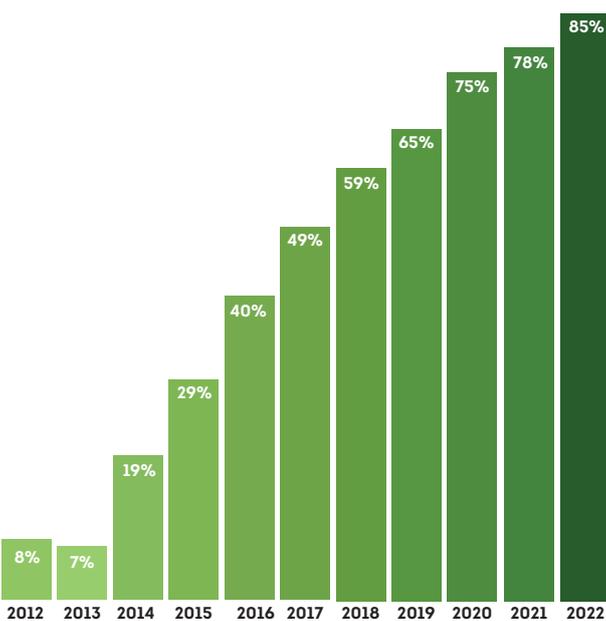
2023年1月23日（月）、イル・ド・フランス地域圏は、環境、社会、サステナビリティに配慮した公債発行の枠組みのもと、サステナビリティボンドの発行を成功裏に実施。今回の6億ユーロの新規公債は、年限8年3ヶ月、利回り2.959%となっている。

15カ国から94名の投資家を集めたこの取引は、イル・ド・フランス地域圏のブランド力の高さを証明している。当地方

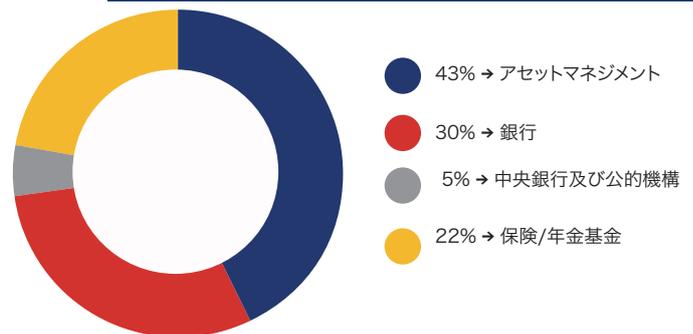
は、その財政の堅実さが認められており、また、欧州でベストプラクティスの1つに数えられる公債発行の枠組みによって強化された、サステナビリティボンド市場における長い実績も強みとなっている。

当地方は今回の公債発行の成功により、その魅力が再確認され、地方自治体を監視する機関からもその健全な運営が評価されている。

地方債務残高におけるサステナビリティボンドの比率



投資家タイプ別内訳 (%)



地域別内訳 (%)

